

令和7年がスタートしましたが、2学期終業式で伝えた、「一年の計は元旦にあり」という言葉の通り、今年の決意や目標を持ってスタートすることができたでしょうか。

今日は、今から21年前に、僕が龍野高校で放送部の顧問をしていた時に、生徒と一緒に作成した「ラジオドキュメント」の「いちばん星」を7分間聞いてもらいます。

主人公は白石慎太郎君という、高校1年生で、生徒会執行部に入って将来外交官を目指していました。校内弁論大会でも素晴らしい発表をして、英語スピーチコンテストの出場を目指していました。放送室で、その思いを取材した2日後に取り返しの付かない一大事が起こってしまいました。

音声しか有りませんので、そっと目を閉じて、同級生の思い、教員の思い、お母さんの思いを考えながら聞いてみてください。

(ラジオドキュメント7分)

まさか、白石君が取材して2日後に亡くなるとは誰も思っていませんでした。放送室で笑顔で語ってくれた音声だけが残され、「みんな違ってみんないい」とか「毎日毎日が意味ある重要な時間だと思っています」など、彼の残してくれた言葉を、生きている多くの人に聞いて欲しいと思って、悩んだ末にこの番組を作成することにしました。

実は、僕は彼に「放送部に入部して全国大会でのNHKホールを目指そう」と誘っていましたが、彼はずっと断っていました。しかし、後から聞くと、お母さんには「2年生になったら放送部に入ってもいい？」って言うことが後からわかって、涙が止まりませんでした。

NHK杯の全国大会に出場し、この作品の最終結果は、全国優勝を果たすことができましたが、形は違っても一緒にNHKホールの舞台に立てたことに、涙が止まりませんでした。

21年経っても、その時のことを思い出すと涙がでます。白石君のお母さんを何度か訪ねましたが、息子を突然亡くして、生きていた時のまま部屋を片付けずにずっと暮らしておられました。

私たちは当たり前のように明日があると思って生きていますが、それは当たり前ではありません。命の大切さや、本当に毎日を精一杯大切に生きているかを、新年のスタートに考えて欲しいと思います。

3年生は、来週末の大学入学共通テストに標準を合わせて3学期のスタートを切っている人も多いかと思います。これまでやってきたことを、振り返り健康管理に一番に気をつけ、気持ちを落ち着かせて、今できることを精一杯取り組みましょう。

高校2年生は、本気で自分の進路を目指して頑張る年にしてください。

高校1年生は、文理選択で、本格的に自分の進路を求め始める年になります。無理をせず、健康第一で、目標を立てて悔いのない新年をスタートしてください。